

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	KIX13	階数	地上3F
建設地	大阪府箕面市彩都粟生北5丁目	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年2月8日
敷地面積	29,747 m ²	作成者	(株)NTTファシリティーズ吉永康平
建築面積	7,870 m ²	確認日	2021年2月12日
延床面積	23,433 m ²	確認者	(株)NTTファシリティーズ柴山貴行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	バルコニーによる壁面の分割及び法肩への植栽帯を設置により、建物のボリューム感を提言した。敷地内の法面について、敷地西側は既存樹木を活かした計画とし、道路に面した敷地南側は植栽を行う計画とすることで、周辺環境に配慮した計画とした。また、災害に対し高い信頼性を持つ建物として計画している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	各階オフィス及び2階休憩室に開口部を設け、眺望を楽しむことができ開放感のある演出を行う。最適な空調設備計画、照明計画等にもより、快適な室内環境をつくりあげる。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周辺の法面について、既存樹木を活かすことで緑の質に配慮し、既存樹木が不足している箇所については植栽を行う計画とすることで、緑の量を確保する計画とした。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 外周のフェンスや門扉により歩行者の安全性に配慮している。視認性・通風の良好なフェンスとすることで、快適性にも配慮している。また、今回屋外広告物を設置しない計画としている。
Q2 サービス性能	来訪者のゾーンとサービスゾーンを明確に分けることで、快適なサービスの提供ができるように配慮している。また安全なサービスが提供できるよう、セキュリティラインを明確にすることで、セキュリティ計画に配慮した計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	ガス消火設備はN2消火設備を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0138

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	KIX13						
	建設地	大阪府箕面市彩都粟生北5丁目						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						1	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	1	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				1.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.8	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							